

承認番号：RD 7109-001

文書番号：23096772

2023年9月12日

UR-300T 試験成績書

JIS A 5548 タイプI

株式会社 タイルメント

技術開発センター

1. 目的

UR-300T の JIS A 5548 タイプIの性能を確認する。

2. 試験項目

JIS A 5548 タイプIに基づく接着強さ試験

3. 試験材料

被着材：セラミックタイル（JIS A 5209 BIII施ゆうタイル）を 40mm 角に切断し使用

下地材：モルタル板（70mm×70mm×20mm）

セラミックタイル（JIS A 5209 BIII施ゆうタイル）を 70mm×180mm に切断しエポキシ樹脂系接着剤にてフレキシブルボードに張り付け使用

4. 試験方法

4.1 試験体の作製

標準状態（23±2℃、50±10%RH）において、各下地材に接着剤を適当量とり、ヘラを用いて 5mm 程度塗布した後、くし目ごて(幅×高さ×ピッチ：3×3×6mm、Uノッチ)を角度約 60°に立て均一に塗布した。その後、待ち時間を 20 分とり被着材を下地材の中央に静かに載せ、その上に 1kg のおもりを載せ 30 秒間圧縮し、試験体とした。なお下地材のモルタルはあらかじめ 23±2℃の水中に 7 日間浸せきしておき、モルタル表面の浮き水を除去した後、試験に使用した。

4.2 養生条件

標準養生 : 標準状態雰囲気下で 168 時間養生。

低温養生 : 低温(5±2℃)雰囲気下で 840 時間養生。

アルカリ水中浸せき : 標準状態で 168 時間養生した後、水酸化カルシウム飽和溶液(23±2℃) 中に 48 時間養生。

温水浸せき養生 : 低温雰囲気下で 168 時間養生した後、温水(50±2℃)中に 24 時間養生。

熱劣化 : 標準状態で 168 時間養生した後、高温乾燥(60±2℃)雰囲気中に 672 時間養生。処理終了後、試験体を標準状態で 24 時間静置した後測定した。

4.3 測定条件

テンシロン万能材料試験機 RTF-2410 により、変位速度 3mm/min にて測定を行った。

5. 試験結果

モルタル板下地、セラミックタイル下地共に JIS A 5548 タイプIの品質基準を満たすことを確認した。

表 1 JIS A 5548 タイプI試験結果

| 養生条件 | モルタル板下地 | | セラミックタイル下地 | | JIS A 5548 品質基準 |
|-----------|-------------------|---------|-------------------|------|------------------------------|
| | 接着強さ | 破壊状態 | 接着強さ | 破壊状態 | |
| | N/mm ² | % | N/mm ² | % | |
| 標準養生 | 1.90 | A100 | 1.37 | A100 | 0.60 N/mm ² 以上 |
| 低温養生 | 3.07 | A100 | 1.97 | A100 | 0.30 N/mm ² 以上 |
| アルカリ水中浸せき | 1.84 | A100 | 1.37 | A100 | |
| 温水浸せき | 1.65 | AB10A90 | 1.22 | A100 | |
| 熱劣化 | 2.20 | A100 | 1.57 | A100 | |

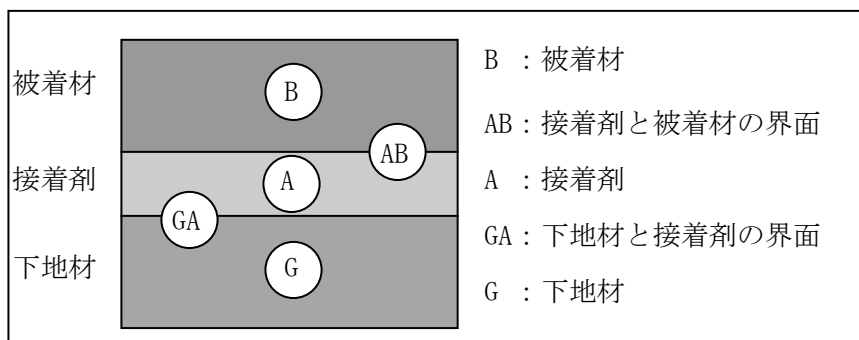


図 1 破壊状態図

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討ください。